



セーフコミュニティ国際認証都市 こおりやま



セーフコミュニティ認証式（2018.2.2）

セーフコミュニティとは・・・

WHO（世界保健機関）が推奨する「けがや事故の予防活動」の国際認証制度で「けがや事故は、その原因をデータから見つけ出し、必要な対策を行うことで予防することができる」という考えに基づき、地域の住民や各団体や関係機関、行政などが力をあわせてけがや事故の予防に取り組んでいる地域のことです。

皆さんも、けがや事故には十分気をつけましょう。

福島県内初、日本国内で15番目、世界で391番目の国際認証取得！

郡山市は、2015年11月に市長がセーフコミュニティに取り組むことを宣言し、けがや事故の予防に取り組み、その活動が認められ、2018年2月にセーフコミュニティ国際認証を取得しました。



審査員から認証盾の授与



審査員から認証旗の授与



認証センターのメッセージ
（読み上げ）

一緒に取り組みませんか？セーフコミュニティ

郡山市は、6つの分野（交通安全、こどもの安全、高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災・環境安全）における「けがや事故」を減少させるため、各対策委員会を設置し、それぞれの分野における「けがや事故」をデータから分析して課題を見つけ出し、その解決に向けて様々な取り組みを行っています。

例えば、交通安全対策委員会では、市内の交通事故多発交差点マップを作成し、学校や企業などに配布して、交通事故に遭わないよう注意を呼びかけています。

みなさんも、事故やけがに遭わないよう十分に注意しましょう。

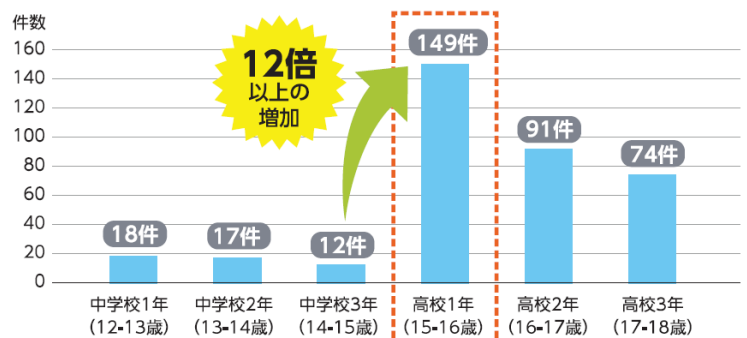
交通安全対策委員会



郡山市内で発生した事故の発生箇所を分析したところ、交差点内または交差点付近を合わせて58%発生しています。

また、中学3年生と高校1年生の自転車事故件数を比べると12倍もの差があることが分かっています。交差点内や交差点付近での事故に気をつけましょう。

■ 郡山市の自転車事故(中学生から高校生までの発生件数) ※2012(H24)/1/1~2015(H27)/8/31までの累計



こどもの安全対策委員会



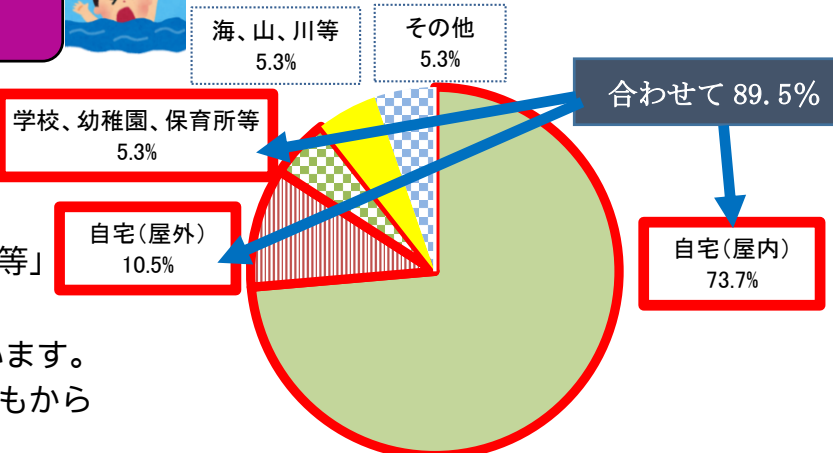
0～6歳がけがをした場所

第1位が「自宅（屋内）」73.7%

第2位が「自宅（屋外）」10.5%

第3位が「学校、幼稚園、保育所等」5.3%

この3つが全体の89.5%を占めています。
小さな子どもがいる家庭では、子どもから目を離さないよう注意しましょう。

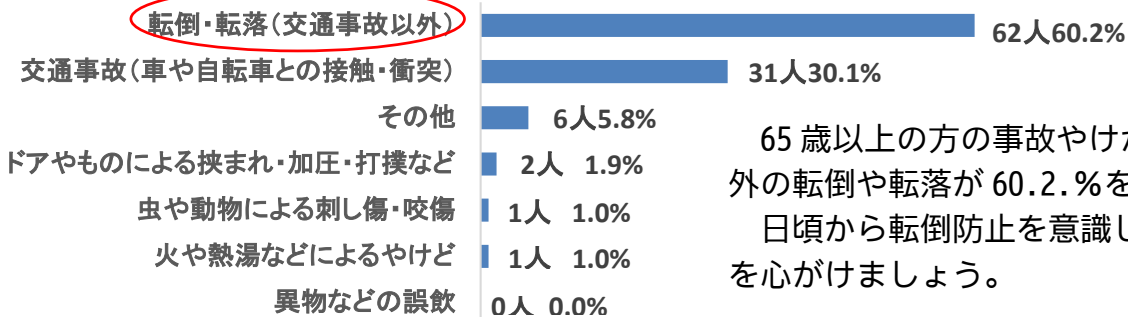


出典：安全・安心なまちづくりについての意識調査（2016年）

高齢者の安全対策委員会



【65歳以上の方の事故・けがの種類】



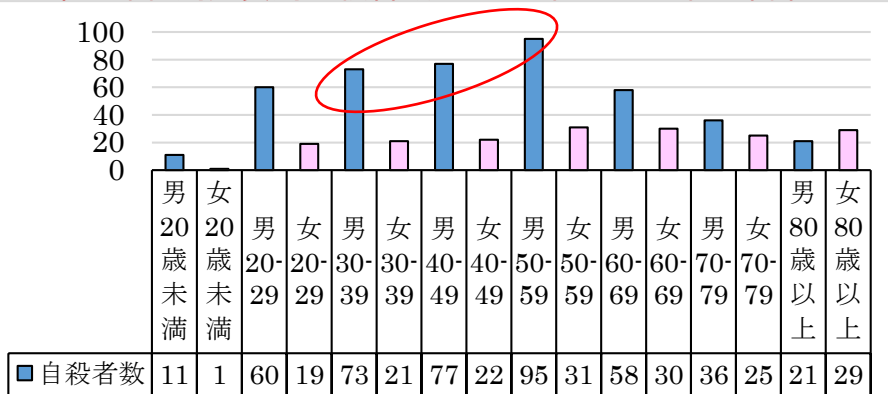
65歳以上の方の事故やけがは、交通事故以外の転倒や転落が60.2%を占めています。日頃から転倒防止を意識して、適度な運動を心がけましょう。

出典：郡山市セーフコミュニティ「市民意識調査アンケート（調査時期 2014年12月）」

自殺予防対策委員会



【郡山市の年代別男女別自殺者数（2009年～2016年の累計）】



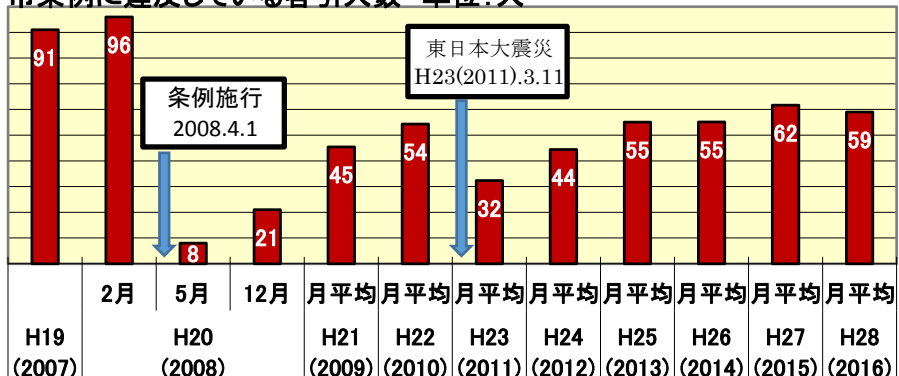
特に30代～50代男性の自殺者数が多くなっています。周囲に悩んでいる方がいたら話を聞いてあげましょう。

出典：内閣府「自殺の基礎資料」※「自殺日」「住居地」により集計

防犯対策委員会



市条例に違反している客引人数 単位：人



郡山駅前では、市条例で禁止されている違法客引きが東日本大震災以降、増加傾向にあります。

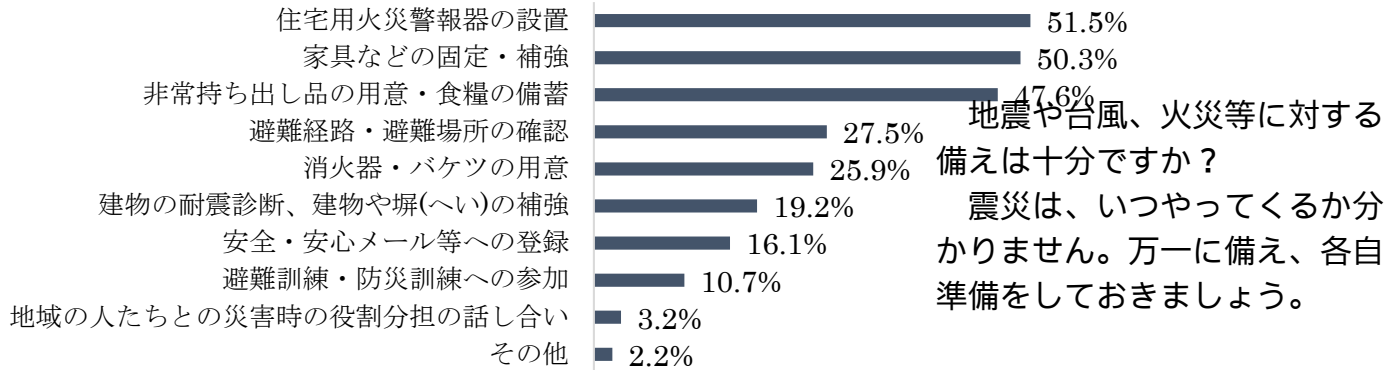
決して利用しないようにしましょう。

出典：郡山市客引き等実態調査（毎月最終金曜日夜の状況）

防災・環境安全対策委員会



【市民が各自実施している災害対策】



出典：郡山市セーフコミュニティ地域診断 2014 年度 市民意識調査

《 ちょっとしたことが「けが」や「事故」予防につながります 》

セーフコミュニティは、「けがや事故」の予防活動です。

私たち一人ひとりが、けがや事故に遭わないよう心がけ、ちょっとしたことを行うだけでも、けがや事故の予防につながります。

けがや事故の減少に努め、みんなが笑顔で過ごせるまち“こおりやま”にしていきたいと思います。

ご近所で



街の危険個所を確認し、対策について話し合ってみよう



ご近所同士が誘い合い、地域の防災訓練に積極的に参加しよう

ご家族で



万一に備え、地域の避難所を確認しておこう



いざという時に備え、防災用品を準備しておこう

子どもたちに



自転車に乗りながら音楽を聴くことは危険であることを伝えよう



歩きながらスマートフォンを使用しないよう伝えよう

《 悩みがある時は相談しましょう！ 》

悩みは誰にでもあるものです。「地域における自殺の基礎資料（2014年）」によると、今までに「自殺をしたいと思ったことがある」と回答のあった472人に、自殺を考えたとき、どのように乗り越えたか聞いたところ、「家族や友人、職場の同僚など、身近な人に悩みを聞いてもらった」と約4割の方が回答しています。

一人で悩まず、まずは誰かに相談してみましょう。



【生活全般】

相談内容	相談窓口・機関	電話番号	受付時間
日常生活での困りごと相談	郡山市 市民相談センター	024-924-2155	月～金 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)

【こころの相談】

相談内容	相談窓口・機関	電話番号	受付時間
こころの病・不安・孤独などのさまざまな悩み相談	こころの健康相談ダイヤル	0570-064-556	月～金 9:00～17:00

【こどもや子育て】

相談内容	相談窓口・機関	電話番号	受付時間
学校・家庭生活に関する相談（不登校、いじめ、学業、非行、子育てに関すること）	子どもと家庭テレフォン相談（県中央児童相談所）	024-536-4152	毎日 9:00～20:00 (祝日・年末年始を除く)

郡山市市民部セーフコミュニティ課（郡山市役所西庁舎3階）

電話024-924-2151 ファクシミリ024-921-1340

メールアドレス safecommunity@city.koriyama.lg.jp

